

茨城NPO情報

MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

1...巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス
2...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより

編集/発行

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・commons
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2丁目2番23号102

☎029-300-4321 FAX 029-300-4320

URL <http://www.npocommons.org>

E-mail info@npocommons.org

第13号

2003.11

分野違えど苦勞は同じ

空
飛ぶ
帚

先日、ネパールで農村開発に取り組んでいるNGOの方の話をお聴き会を開いた。シャプラニール=市民による海外支援の会というNGOだが、シャプラニールが、ベンガル語で睡蓮の家という意味だと初めて知った。もともとバングラディッシュが1971年に独立した後、農業振興の支援に入ったことがきっかけで活動が始まり、96年からネパールでも活動を始めた。▶体験談を話してくれた岡山典靖さんは、99年から3年間カトマンズで現地スタッフのリーダーを務めた人物で、今、全国各地を回って活動紹介を行っている。ネパールの状況があまり知られていないため、風土、民族、言語、宗教など様々な質問が寄せられ、どの話も興味深かった。▶岡山さんたちは現地のNGOと協力し、いくつかの地域で、農業、識字、貯蓄、衛生などに関する指導を行ってきた。標高が高い地域で道路がないため、現地に着くまで2日も歩いて行くという。家庭には電気もなく、女の子は小学校低学年までしか通えないとのこと。そうした地域で、貯蓄融資や野菜生産を住民がグループをつくって進めるよう支援している。▶それまでその地域になかったものを作るとき、住民や現地のNGOとも様々な葛藤があったという。自立支援のために、どんな方法がよいのか悩みなながらの活動だったという。正直に話してくれた岡山さん。活動場所は違っても同じだなと感じた。

(文 横田能洋)

茨城県認証NPO法人
計174法人(11月1日現在)

勤労者マルチライフ支援事業
勤労者ぼらんていあ・ねっと
<http://www.volunteer-net.jp>

余暇や退職後の時間を活用して、ボランティア活動を始めませんか。 commonsは、あなたの社会貢献活動を応援しています!

「セカンドライフ」の充実を!

明るく支え合う、それだけで



NPO活動の多くは、個人的な事柄から出発する。それがだれにでも起こりうる普遍的な事柄であれば、人々の共感を得て、やがて大きな渦になる。「下館地域在宅介護を支える会」(下館市)は、会長の小松崎登美子さん(56)と夫の光正さん(57)が、40歳代で直面した闘病と介護が発端だった。

働きざかりを襲った病

NPOのひとびと
二人は生家が隣土の、幼なじみ。縁は「互いに、親の背中におぶさりながら、親同士の井戸端会議を、子守唄のようにまどろみながら聞いていた」(登美子さん)頃までさかのぼる。

光正さんが病に倒れたのは、13年前の44歳の時。それ以前に、予兆のように、人生の大きな変化が光正さんに訪れている。民営化直前の旧国鉄を40歳で退職したことだ。労働組合の幹部だったため、組合員の職の安定を優先させるため、労使交渉に心血を注ぐ。事実上の退職までさらに2年掛かった。

市民活動 龍ヶ崎市で開講中 パワーアップ講座

市民活動センターが開設されるなど、市民と行政の協働による地域づくりを進めている龍ヶ崎市は今秋、市民団体運営力の向上を図る連続講座を企画。その開講記念フォーラムが10月20日に開催された。講演に続き、地元4つの市民団体が活動を報告、団地にいる男性たちの地域参加を進めたい、公民館などを活用して子どもの地域留学を実現したい、などの提案があった。この日の結論は、「団体同士の横のつながりを深めたい」。

12月1日でNPO法施行5周年

NPO法施行5周年を迎える12月は各地でイベントが開催される。全国規模では、記念シンポジウム「NPOの過去・現在・未来～NPOの課題を整理し、今後の展望を考える」(主催・NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会)が1日(月)午後7時から、東京飯田橋の研究社英語センターで。茨城は、7日(日)午前11時から、サンレイク土浦で「茨城NPOフォーラム2003」を開催。今後のNPO活動を展望するチャンスです。是非ご参加を。

「NPO運営アドバイザー」派遣中

NPO法人をつくったが、組織運営や経理のことで相談したい、ホームページやパンフレットを作りたい、などの諸々の悩みに対して、県内の3つの中間支援組織が県の委託を受けて訪問サポートを行っています。9月に始まって以来、約10団体に伺い、事業計画づくり、経理システム導入、就業規則づくり、ホームページ作成などの相談に応じています。法人申請中の団体も対象になりますので、まずは気軽にご連絡ください。

下館地域在宅介護を支える会 小松崎光正 登美子夫妻

地元の下館に戻り、旧友らに推されて下館市議に当選した年に、病が襲う。死の手前まで行った。高校時代はラグビーで鍛え、それまでは健康に何の不安もなかった。働きざかりの年齢だったし、2人の子どもはまだ高校生と中学生。「おれは、まだやれる」。焦燥や怒り、無念さは強かった。

介護通じ得た友人たち

光正さんを明るく支えてきた登美子さんは、光正さんがいた病院で、同じ境遇の主婦たちと出会い、希望を語り合い、介護のつらさを励まし合った。

退院後にその主婦たちと、「ほっとひと息井戸端会議」と称し、介護に関する情報のやりとりや日々の大変さを打ち明け合う場をつくったのが、同会が生まれだきっかけだ。

「だれもが本音を語れる機会が必要なのです。毎月、つらいこと悲しいことを語り合いました。5人の時も、15人に膨れ上がった時もありました。心の内を吐露し合いながら、励まされ、エネルギーをもらっていたのです」と登美子さん。

続けていると、「何が必要か」が次第に浮かび上がってきた。身体が不自由な人たちが安心して街を歩けるようにと作成した「福祉マップ」を皮切りに、市内を巡回し、お年寄りや身体が不自由な人と一緒に時を過

ごす「ほっとひと息サロン」へと、活動が広がる。

同市稲荷町の下館市地域交流センターの一角に8月にオープンした「ほっとひと息ステーション」は、「市民が自由に話し合ったり、相談し合える場を」との思いから生まれた。小さな井戸端会議の場は、1ヶ月延べ千人が行き来する、「駅」になった。

お金よりも「ひと運」を

光正さんは、今も左半身が不自由だ。だが、心は穏やかさを取り戻している。会の活動のほかにも「たろう案山子の会」というボランティア活動を楽しんでいる。「商工まつり」での売り上げ金で、お年寄りや身体の不自由な人が憩うためのベンチを置く。市内のあちこちに「ほっとひと息ベンチ」は、すでに4つ。

「金運よりも、人の運の方がよいに決まっているんだから。お金がほしいと考えるのはよそう」。話がやりくりの台所事情におよぼうとした時、光正さんがつぶやいた言葉は、これまでの、そしてこれからの、夫妻の生き方を表している。二人はいつも、たくさんの人たちに囲まれているのだから。

(写真と文 佐竹 明)

下館地域在宅介護を支える会
下館市小川1444の28
☎FAX 0296-28-0136
(ボランティア募集しています)

TOPICS

情報掲示板 (今月から来月にかけての催しや人材募集などを掲載しています)

◎イベント案内◎

■ヒアリング・ヴォイスズ-聞こえる声とともに成長する道-講演会参加者募集

日時 11月29日(土)午後2時~4時
場所 水戸プラザホテル アンフィシアター
講師 佐藤和喜雄さん(ヒアリング・ヴォイスズ研究会、福祉会菩提樹)
定員 90人(先着順)
参加費 一般2千円 障害者無料
問い合わせ 支援センター『風(FOO)』 ☎029-302-5388 FAX 029-302-5371

■第6回エイブルのタペーちゅうさんのみんなでコンサート参加者募集

映画エイブルの上映会をきっかけに、ミニコンサートと交流のつどい「エイブルのタペ」を開催します。心に響く音楽にご期待ください。新しい友達と出会えるかもしれません。障害のある方もお気軽に。当日参加も歓迎です。

日時 11月29日(土)午後6時~8時半
場所 カフェベルガ(つくば市竹園)
出演 井上忠志さんとアンサンブルチーム
参加費 500円(ケーキセット付)
問い合わせ エイブルのタペ実行委員会 吉田さん ☎090-1837-1207、三土さん ☎029-851-7125 E-mail yosida@maill.accs.net.ne.jp

■やみぞの森「家族が安心して快適に暮らせる家づくりの集い」参加者募集

日時 11月30日(日)午後2時~4時
場所 鹿嶋勤労文化会館研修室2A
内容 ①「NPO法人やみぞの森の活動について」(代表理事・鈴木昭平さん)②「欠陥住宅をつかまぬ知恵とやみぞの森の家について」(理事で樹設計事務所代表・中村昌平さん)③「女性から見た収納と屋根裏部屋」(やみぞの森理事で円卓設計代表・中村眞紀子さん)
定員 30人(前日までに予約、受付は午前9時~午後5時)
参加費 無料
※集い終了後、個別に設計相談(要予約)があります。ただし、個別相談料千円は「緑の羽根募金」へ。

■連続講座「水戸再発見に向けて」第3回「街の潜在的価値の発見」参加者募集

建築・デザイン・アートの分野で活躍する講師陣が、空きビルや店舗を改装、再利用し、新しい価値を創出する手法などを紹介する連続講座。
日時 11月20日(木)午後6時半~8時半
場所 水戸芸術館会議場
講師 デザイン会社代表で都市再生プロジェクト「R-project」発起人の黒崎輝男さん。
定員 100人(申し込み不要)
参加費 無料
問い合わせ NPO法人茨城の暮らしと景観を考える会 ☎029-253-6540

■香月人美ポエトリーパフォーマンス「目覚めると雷鳴の巢のなか」にいた観覧者募集

女流詩人と筑波大学卒のピアニストによる朗読と音楽のコラボレーションです。
日時 11月22日(土)・23日(日)いずれも午後4時開演(開場午後3時半)
場所 つくば市田井ミュージアム
出演 香月人美さん(朗読)、とんとんさん

ん(シンセサイザー)、川口浩範さん・柳瀬敬さん(和太鼓)

料金 前売2千円(当日2千500円)
問い合わせ とんとん ☎070-6642-7066

■レイアウトソフトエディカラーによる広報紙(誌)・プチ新聞の制作のお手伝い

日本語組版では目目細やかな設定ができるレイアウトソフト「エディカラー」(ウィンドウズ版)を用いて、プランケット版までのプチ新聞および広報紙(誌)を作りませんか。弊紙編集スタッフが、組版のルールから、印刷会社へ失礼のないようにデータを入稿するまでのノウハウを全て、お教えします。レッスンではありません。即、制作開始します。目標媒体完成へ向けて、一歩目から完全フォロー。日本語組版のためのレイアウトソフトの思想と操作に習熟して、自由に媒体作りを楽しんでください。

日時 随時
場所 コモンズ事務所ほか
案内(指導)料 お任せします
問い合わせ 茨城NPOセンターコモンズ ☎029-300-4321

■恵藍舎月例の「出会いの会」11月「人生は宇宙に聞こう」の参加者募集

日時 11月15日(土)午後2~5時まで
場所 恵藍舎
出演 るしえる・A I N・ムーンライトさん(サビアン占星術研究家)
参加費 中学生以上500円(要予約)
問い合わせ こどもとおとなの学校恵藍舎 ☎FAX 029-246-9689 E-mail em-earh@mr.g.biglobe.ne.jp

◎ボランティア募集◎

■森を護る・人を護る「第3回森林ボランティア体験セミナー」参加者募集

森は山を保ちます。山は降り注ぐ雨を受け、湖沼・河川を作ります。その水を受け取って人は生活します。森があるから、私たちは豊かに生活できます。森を護る活動にあなたも参加してみませんか。
日時 11月23日(日)午前9時~午後3時
場所 常陸太田市西山公園
内容 檜の間伐
定員 15人(18日締め切り)
参加費 500円

茨城NPOフォーラム2003

社会を動かすNPO ~市民がつくる茨城のこれから~

《日時》 12月7日(日)11時~16時半
《場所》 サンレイク土浦2階会議室ほか
《基調講演(13時10分)》 山岡 義典さん(日本NPOセンター)
《活動発表・課題提起(14時20分)》 恒川 敏江さん(緑の会) 小野村 哲さん(リヴォルヴ学校教育研究所) 鎌田 裕十朗さん(日本医療救援機構) 小野 忠志さん(かしまスポーツクラブ) 川崎 真理子さん(ふれあい坂下)
《参加費》 無料
《申し込み方法》 住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、はがきまたはファックスでご応募ください。複数参加の場合は人数・所属・団体名をご記入ください。
《申し込み先》 茨城NPOセンター・コモンズ(弊紙題字わきを参照)

NPO 一日体験 レポート

募集中!!
*本欄は、市民の皆さんによるNPO訪問体験記です。「NPOが知りたい」「NPOで働いてみたい」と希望される方には格好の機会です。コモンズがコーディネートしますので、希望される方はご一報ください。



「いばらき森林クラブ」 〒312-0012 ひたちなか市馬渡 2525 の 538 ☎029-274-5287

里山保全への意欲再確認

コモンズからのお誘いで、「第1回森林ボランティア体験セミナー」に参加しました。

場所は、稲敷郡阿見町の小池城址公園。当日は、「いばらき森林クラブ」の会長・中村栄三さんの導きで園内を散策しながらのオリエンテーションでスタート。

当地での活動は、平成11年に県・町・クラブの3者間でボランティアによる平地林整備のための「森林整備協定」を結ぶなど、県内各地から注目されているとのこと。

地元住民の協力もあいまって、徐々にではあるものの整備が進み、今では間伐材で竹炭を作る炭焼窯があったり、落ち葉を集めて作った腐葉土がカブトムシのベッドになっていたりと、まさに自然体験フィールドとなっています。



オリエンテーションの後、2班に分かれ午前午後と交代で竹林の間伐と園内の草刈りです。現在の生活では不要となり、

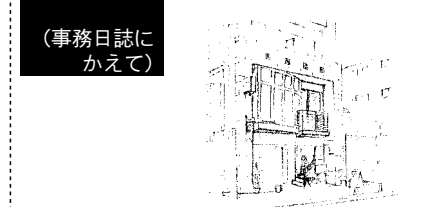
放置された竹林は、その猛々しい繁殖力で人家をも駆逐しており、「竹公害」とさえ言われています。みなさん、腰にナタとノコギリをぶら下げ、慣れぬ手つきで間伐にチャレンジ。最初はおっかなびっくりでしたが、徐々に慣れ、気持ちのよい汗をかいたところでランチタイム。

午後は、手鎌を使って草刈り。これが想像を絶する重労働。刈払機のエンジンを唸らせてあつという間に刈りこんでいく彼方のオジサンが恨めしい。そんなこんなでアツと言う間に、解散の時間を迎えてしまいました。わずか半日のお手伝いでどれほど力になれたかは甚だ不安だし、自然に接すると人間はいかに力不足かと痛感させられました。目で分かるような成果はすぐには現れず、多くの人手も時間も必要です。

今回のボランティアを機に、かねてより関心のあった森林・里山保全に、もっと深く幅広く関わっていきたいと思った次第です。当体験セミナーは年度内にあと2回実施されるとのこと。次回以降も楽しみにしています。

(文と写真 NPO起業科修了生の本 浩さん)

五軒町だより まちのギャラリー



この2階はギャラリーらしい。「アートワークスギャラリー」という、その看板の前を通る度にいつも気になっていましたが、近頃、秋風に背中を押されて訪ねてみました。

どきどきしながら階段を上ると、下の車の音が嘘のように、静かでしっくり「アート」な空間。居心地がいい。1、2週間程度の入れ替りでさまざまなアーティストの展示が行われているとか。

小さな空間、短い時間に精一杯の表現が詰め込まれた宝物が、ここに行き交っている。こんな身近に手軽に楽しい場所があるなんて。勇気を出してよかったな。

(絵と文 草間多佳子)

「駆け込み情報」セミナー「園芸療法ってなに？」が11月15日(土)午前10時から、水戸市福祉ボランティア会館で開かれます。問い合わせはチューリップガーデンプロジェクト(☎029・304・2888)へ。

本紙常備施設・お店
ハモナカフェ(☎029-871-2157) 水戸芸術館(☎029-227-8111) 水戸カトリック教会(☎029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(☎02957-2-0708) 自然食レストラン「パンプキン」(☎0293-42-1818) 常陸太田市生涯学習センター(☎0294-72-8888) カフェ「ピアニッシモ」(☎029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(☎029-254-3752) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(☎029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(☎029-228-1313) 交流サロニーいばらき(県三の丸庁舎☎029-302-2160) 水戸市国際交流協会(☎029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(☎029-309-4141) まちの駅みと(☎029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz'n(りっつん)」(☎029-856-0009) つくば市市民活動センター(☎029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(☎0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(☎0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(☎0297-46-3370) 下館市立図書館(☎0926-24-3530) 県西生涯学習センター(☎0296-24-1151) 県南生涯学習センター(☎029-826-1101) 県立図書館(水戸市三の丸☎029-221-5569) 水戸市立中央図書館(☎029-226-3951) 石岡市まちかど情報センター(☎0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(☎029-226-3161)
※無料配布しています。
あとがき 過日「ボランティアまつりインミオス」に参加。ゆりの会特製「ダイタラ坊の里田舎御膳」が美味!でした(あ)。縦書きか横書きかどちらが読みやすいか、ご意見お聞かせください(公威)。芸術の秋だし、私も小さいギャラリーをのぞいてみようかな(か)。コミニティレストラン「とらい」では、シャブラニールさんの協力で、ネパールの手工芸品を展示してます。ぜひお立ち寄りください(ハリー)。